

第5学年 社会科学学習指導案

日 時 令和5年11月14日（火）公開授業Ⅱ

児 童 男子11名 女子15名 計26名

指導者 大日向 千尋

1 単元名 未来をつくり出す工業生産 「自動車の生産にはげむ人々」（小学社会5 教育出版）

2 単元の目標

我が国の自動車生産について、製造の工程や工場相互の協力関係、優れた技術、交通網の広がり、外国とのつながりに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、関係図などにまとめ、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、それらの働きや役割を考え、表現することを通して、自動車生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの産業の発展について考えようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自動車生産の工夫や関連工場との連携、社会問題への意識などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の努力や工夫を理解している。 ② 調べたことを図や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生み出そうと努力や工夫を重ね、生産を支えていることを理解している。	① 製造の工程や工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見出し、自動車生産に関わる人々の努力や工夫について考え、表現している。 ② 生産者の工夫や関連工場との連携、運輸方法、社会問題や消費者への意識を比較・関連付け、工業生産に関わる人々の働きをを考え、表現している。	① 我が国の自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 単元について

（1）教材観

日本の基幹産業である自動車の生産は、消費者のニーズに合わせて、各関連機関と協力しながら、日々進化を遂げている。また、児童にとって最も身近な自動車産業について、その工夫や努力をまとめながら、学習を深めることが、日本の工業生産を支える人々の働きを理解することに適していると考えた。

（2）児童観

児童は、5年生になり、資料や地図、新聞を活用しながら、日本の産業の様子について考える活動を行っている。しかし、事実だけを読み取り、考えを深めるところまでは至っていない。そこで本単元では、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送価格や費用などに着目して、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉えていく。工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を捉え、それらの意味を考えることで児童の考えを深めていきたい。

(3) 指導観

我が国の工業生産の現状について正しく理解するために、新聞を活用し、自分たちの日常生活と結び付けながら考えていくようにする。それぞれの工業生産に関わる人々の働きを明確にし、我が国の自動車生産が多く工夫や努力によって成り立っていることを気付かせたい。

5 研究主題との関わり

NIE の視点 ① 教科等の学びを身近な生活や社会につなげることができる。
 ② 最新で信頼性の高い情報を取り入れることができる。
 ④ 読む力・書く力が高まり、多様な表現方法を身に付けることができる。

NIE タイムを中心に社会科の学習に関わる新聞記事をファイルに集めていくという活動を続けている。本単元は、自動車作りに関わるニーズを把握し、今後の発展について考えたり、説明したりすることを目指している点が本校の研究主題と関係している。児童の生活と結び付けながら考えていくことで、本単元の目標を効果的に達成させることができると考えた。

6 指導と評価の計画

時	ねらい	主な学習活動	評価規準
1	○昔と今の自動車の生産方法や生産台数、車体のデザインや性能などの変化に着目して、今の自動車生産の様子についての学習問題をつくる。	・昔と今の自動車、自動車生産の様子を複数の写真やグラフなどから読み取り、わかったことや調べたいことを整理して、学習問題をつくる。 NIE 視点①・②	【思考・判断・表現】 発言・ノート ・「自動車の車体や性能、生産の様子の変化について資料から読み取ったことをもとに、現在の自動車生産について予想し、学習問題をつくるために考え、表現しているか。」を評価する。
学習問題：自動車を生産する人々は、どのような工夫や努力をして自動車の性能を高め、大量に生産しているのだろう。			
2	○自動車工場の立地や規模、施設に着目して、生産の様子について予想したり、調べたいことを明確にしたりして、追究の見通しをもつ。	・自動車工場の立地や規模、施設、生産の概要について、用意できる資料から調べ、さらに詳しく調べたいことを話し合い、学習計画を立てる。	【知識・技能】 発言 ・「工場全体の様子について、写真や地図などを互いに照らし合わせるなどして、具体的に読み取っているか。」を評価する。 【態度】 発言・ノート ・「自動車生産について、予想したことを確かめたり、不明な点を整理したりして学習計画を立て、主体的に追究しようとしているか。」を評価する。

3	○人とロボットの分業のもとで行われる自動車の生産工程に着目して、生産に込められた様々な工夫や努力、思いを捉える。	・工場見学やそれに代わる資料の読み取りから、自動車の生産工程を調べ、そこに見られる工夫や努力について話し合う。 NIE 視点①・②・④	【知識・技能】 発言・ノート ・「自動車の生産ラインに沿って人とロボットが作業を分担したり、こまめに検査したりすることによって、品質を大事にしつつ効率的に進められていることを理解しているか。」を評価する。
4	○自動車の組み立てラインの具体的な作業に着目して、大量生産を支えている、効率のよい生産の工夫や努力を捉える。調べてわかったことをもとに、次に調べる問いを明確にする。	・工場見学やそれに代わる資料の読み取りから、組み立てラインで働く人たちの様子を調べ、自動車生産の様々な工夫や努力を整理したうえで、さらに調べたいことを話し合う。 NIE 視点①・②・④	【知識・技能】 発言・ノート ・「大量生産を進めるうえで必要な、作業のミスを防ぐ工夫や働きやすい環境を整える取組について、複数の資料からの確に読み取っているか。」を評価する。
5	○部品調達の流れや部品生産の工夫・努力に着目して、自動車工場を支える関連工場の役割を捉える。	・部品を生産し届ける工場について各種資料で調べ、部品調達における工夫や、関連工場の役割について考え、話し合う。 NIE 視点①・②・④	【知識・技能】 発言・ノート ・「自動車生産を支える関連工場の役割や、関連工場と自動車工場との結びつきについて理解しているか。」を評価する。
6	○自動車が工場から販売店に届くまでの流れに着目して、出荷に関わる人たちの工夫や努力、工場の立地と輸送との関係について捉える。	・自動車の輸送の流れを複数の資料から読み取り、新車を運ぶ人たちの努力や工夫、輸送手段の違いや工場立地との関連について分かったことを整理する。 NIE 視点①・②・④	【知識・技能】 発言・ノート ・「自動車が工場から消費地へ届くまでには、様々な輸送手段やそれに携わる人たちの努力や工夫があること、輸送しやすい場所に工場が立地していることを資料からの確に読み取っているか。」を評価する。
7	○新しい自動車や機能の開発の様子に着目して、自動車を生産する会社では、消費者のニーズを反映した製品の開発を進めていることを捉える。	・自動車の新しい機能やその開発について、各種資料から調べ、消費者のニーズとそれに応えようとする人々の仕事内容や思いについて考え、話し合う。 NIE 視点①・②・④	【思考・判断・表現】 発言・ノート ・「様々な部門の人たちが協力して、消費者のニーズを反映しながら、新しい自動車や機能の開発を進めていることを考え、表現しているか。」を評価する。

8	○環境や福祉などに配慮した自動車に着目して、多様な人々のニーズや社会の動向を反映した自動車生産が進められていることを捉える。	・今求められている自動車について、収集した資料から調べ、多様な人々のニーズや社会の動向と自動車生産との関連について、わかったことを整理する。 NIE 視点①・②・④	【思考・判断・表現】 発言・ノート ・「環境にやさしい自動車、あらゆる人にとって利用しやすい自動車の生産など、多様な人々のニーズや社会の動向を反映した生産が進められていることを捉えているか。」を評価する。
9	○これまでの学習を整理して、自動車の生産に関わる人々の働き、消費者のニーズや社会の動向に対応する工夫や努力について理解し、様々なニーズや課題にこたえるこれからの自動車生産について考える。	・これまでの学習をもとに、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について新聞の見出しをキャッチコピーの形式で整理して、これからの自動車生産に関する各自の考えを発表し合う。 NIE 視点①・②・④	【思考・判断・表現】 発言・ノート ・「自動車の生産や輸送、開発に携わる人々の工夫や努力について整理したことを総合して、社会に必要とされる製品や優れた製品を消費者に届けようとしていることなどを考え、適切に表現しているか。」を評価する。

7 本時の指導

(1) 本時のねらい

新しい自動車や機能の開発に着目し、消費者のニーズを反映した製品の開発を進めていることを考え、表現することができる。

(2) 本時の指導

段階	主な学習活動	主な発問と指示 予想される児童の反応	指導上の留意点 ◇評価（評価規準）
導入	1 本時の学習課題を確認する。	○学習課題でまだ解決していないものは何でしたか？ どのように新しい自動車の機能は開発されているのだろう。	
5	・予想を考える。	○どのように開発していると思いますか？ ・多くの人が会議をしている。 ・要望を聞いている。	

展開 20分	2 新機能の開発に関する資料を読み、開発の流れや努力や工夫について整理する。 3 読み取ったことをもとに、働く人々の思いを考える。 4 スクラップしてきた記事をもとに、自動車生産と社会とのつながりを考える。	○新たな機能の開発は、どのように進められているのでしょうか。 ・企画する人がいる。 ・新しいデザインや設計をする人がいる。 ・試作品をつくる人がいる。 ・いろいろな部門の人が協力して新しい車が生まれている。 ○どうして長い年月をかけて、新しい自動車を開発しているのでしょうか。 ・日々変わるニーズに応えるため。 ・お客さんの安心、安全を守るため。 ○スクラップしてきた新聞記事から、これからの自動車産業に必要な「ニーズ」を探してみましょう。 ・飲酒運転の記事 この事故を防ぐための装置が設備されるとよい。 ・高齢者の事故 踏み間違いを防ぐような車があればよい。 ・乗り心地の良い車 ○ニーズに応えた車作りをすることで、私たちのくらしはどう変化していくのでしょうか。 ・より生活しやすい社会になる。 ・だれもが住みやすい社会になる。	・資料集、教科書等の資料から読み取る。 ・ニーズという言葉をおさえる。 ・教科書、資料集等の資料から読み取る。 ・様々な部門の人が協力し合うことで新しい自動車生まれることをおさえる。 ・ニーズに応えた車づくりをすることがよりよい社会の実現につながっていることをおさえる。
終末 20分	4 単元の学習を振り返る	○学習を振り返り、新聞カードにまとめましょう。 ・自動車開発についてまとめる。 ・新しい車を開発するまでの努力や工夫についてまとめる。 ○次の学習は、自動車づくりに今求められていることを考えていきましょう。	◇【思考・判断・表現】 振り返りの記述 ・「様々な部門の人たちが協力して、消費者のニーズを反映しながら、よりよい社会の実現に向けて、新しい自動車や機能の開発を進めているかを考え、表現しているか。」を評価する。

8 板書計画

